

《第 59 号》***オープンアクセスウィーク***

昨年 10 月の 1 週間、図書館周辺がオレンジ色で飾られていたのを覚えている方もあるでしょうか。オレンジ色はオープンアクセスウィーク(Open Access Week: OAW)の公式カラーで、期間中は世界各地でオープンアクセスの意義を周知する様々なイベントが開催されます。本学では、昨年、機関リポジトリの公開からちょうど 1 年を迎える時期と重なったこともあり、初めて OAW のイベント企画に取り組みました。活動の様子は、岩手医科大学リポジトリ HP の「ニュース・広報」ページ https://iwatemed.repo.nii.ac.jp/?page_id=121 をご覧ください。

◆オープンアクセスウィークの始まり

オープンアクセスは、学术论文をインターネット上で公開し自由に利用できるという障壁のない新しい出版形態です。背景には、出版社の寡占化や学術雑誌価格の高騰など商業出版社が主導権を握る学術コミュニケーションの仕組みを変革しようという志向の高まりがあります。(詳細はメルマガ第 5 号をご覧ください。)

SPARC (The Scholarly Publishing & Academic Resources Coalition SPARC <http://www.sparc.arl.org>) というオープンアクセスを推進する米国の団体が OAW のグローバルイベントを始めて今年で 8 年目を迎えます。世界中の学術・研究コミュニティが、貴重な学術業績を共有するためのオープンアクセスを知り、広く伝えるために参加しています。

◆2015 年のテーマは“Open for Collaboration”

SPARC より毎年テーマが発表され、各地でそのテーマにちなんだイベントを企画します。2014 年は“Generation Open”で、「オープン世代」である学生や若手研究者に焦点を当てました。2015 年は“Open for Collaboration”として、研究者間のコラボレーションのための新たなオープンアクセスの可能性の推進を図ります。10 月 19 日(月)～25 日(日)、世界中で OAW の活動が繰り広げられます。学術情報の流通と発展のために、先ずは個々に関心を持ち、周囲の研究者と情報交換しながら連携して行くことから始めてみませんか？

◆「オープンアクセス」紙芝居

2014 年の OAW では、本館運用カウンター PC、分館エントランス広報用スクリーンで「3 分で分かる「オープンアクセス」紙芝居」を上映しました。この紙芝居は、兵庫教育大学附属図書館広報誌 Listen vol.4 を元に金沢大学で作成されたもので、時代劇風のユニークでわかりやすい内容となっています。2015 年 OAW でも上映予定なので、まだご覧になっていない方はどうぞお楽しみに！

図書館トリビア

オープンアクセスの普及に伴い、オープンアクセス誌とは名ばかりの投稿料を搾取する出版社が横行しています。コロラド大学デンバー校の図書館員 Jeffrey Beall 氏が、「Beall's List of Predatory Publishers」(<http://scholarlyoa.com/publishers/>) というリストをブログで公開しています。2011 年の最初のリストに載った疑わしい出版社は 18 社でしたが、2015 年版では 693 社となっています。有名な出版社に類似した名称もあるので、投稿前に確認されることをお勧めします。

メールマガジンに関するご意見・ご質問は、図書館 tosho@j.iwate-med.ac.jp まで。

<編集・発行> 岩手医科大学附属図書館